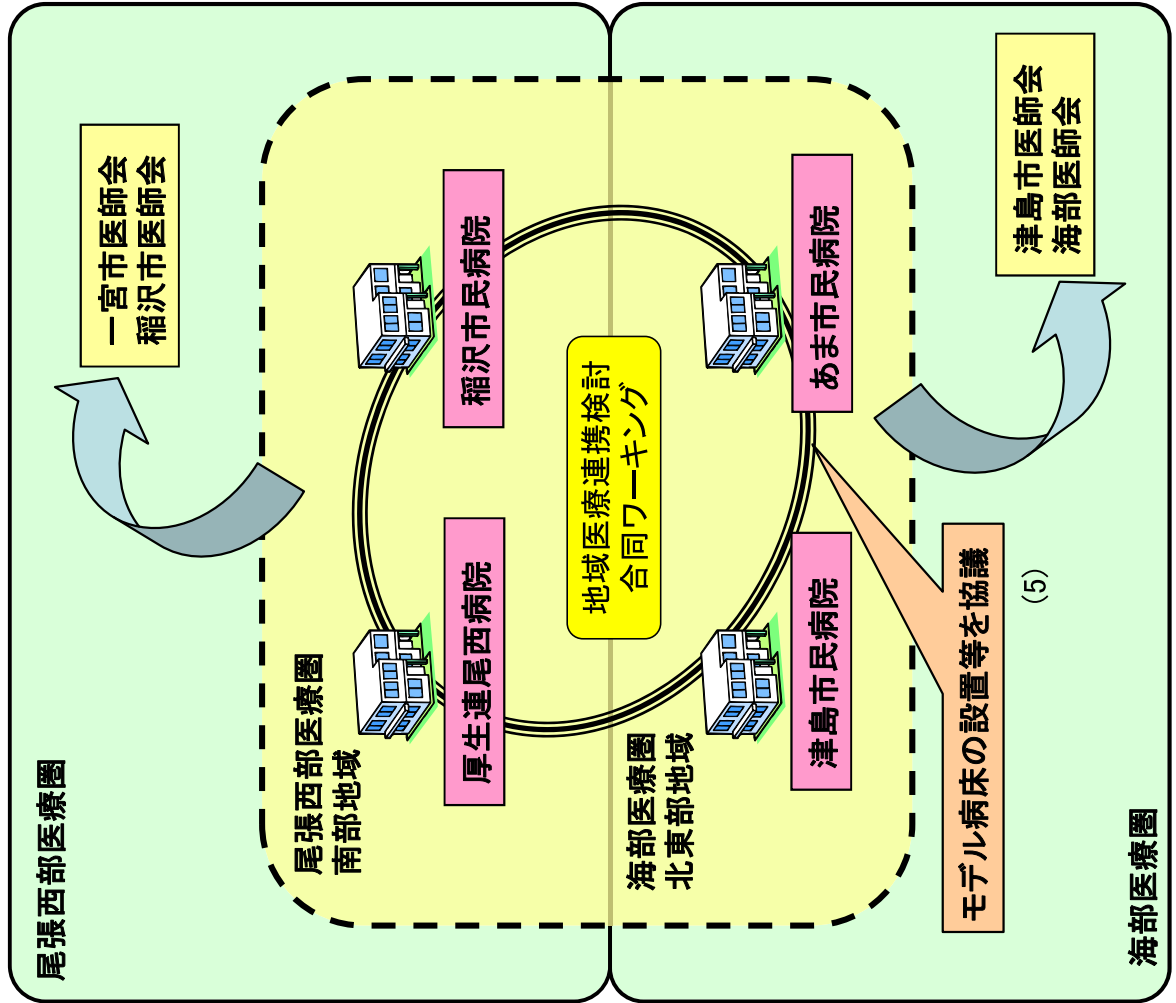


II (2) 圏域を越えた医療連携のモデル構築(尾張西部医療圏 & 海部医療圏)



【課題】

○緊急性の高い疾患への365日24時間対応については、尾張西部医療圏では一宮市立市民病院及び総合大雄会病院が対応しており、稲沢市民病院が一宮市立市民病院と連携して患者の受入を行っている。また、海部医療圏では、厚生連海南病院及び名古屋第一赤十字病院(名古屋医療圏)が対応しているが、津島市民病院が厚生連海南病院と、あま市民病院が名古屋第一赤十字病院と連携して患者の受入を行っている。

○一方、尾張西部医療圏の南部地域及び海部医療圏の北東部地域における急性期医療については、稲沢市民病院・厚生連尾西病院・津島市民病院・あま市民病院が対応するが、いずれの病院も単独では全ての診療科への対応は困難であるため、4病院が圏域を越えて連携(機能分担)を行う必要がある。

○従来の医療機関連携を維持しつつ、急性期を過ぎた患者の受入、更には在宅に至る医療の流れを構築するため、4病院が連携しつつ、在宅医療への移行に向けて地区医師会との連携を進める必要がある。

【対策】

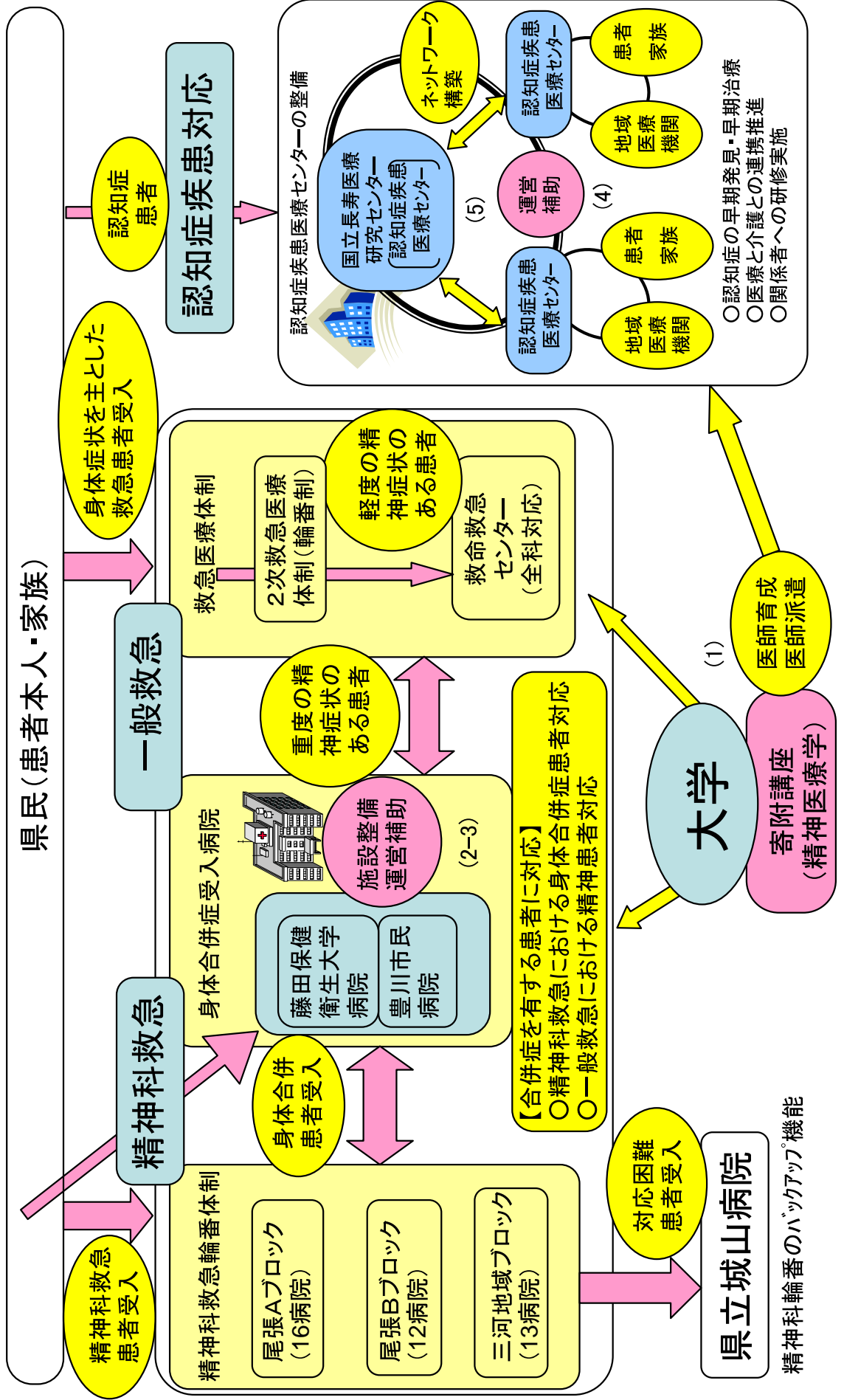
○4病院が圏域を越えて医療連携を行う。
(連携の具体例)診療科の分担、医師の応援、患者の紹介 など
○急性期から在宅までの流れを構築するため、地区医師会を含めた関係者による検討ワーキングを両圏域合同で開催する。
(事務局は保健所に設置する)

【事業内容】

○地域医療連携検討合同WGの開催
(構成員)
稲沢市民病院・あま市民病院・津島市民病院・厚生連尾西病院
地区医師会・一宮保健所・津島保健所 ほか
○モデル病床の設置 など

Ⅲ 精神医療体制の構築

【精神科救急医療対策】 ○精神・身体合併症への対応可能な医療機関への助成、寄附講座の設置
 【認知症疾患対策】 ○認知症疾患医療センターの整備、ネットワーク化



事業内容・基金交付額一覧

【Ⅰ 小児・周産期等医療体制の構築】

項目	番号	事業内容	実施主体	総事業費 (千円)	基金額 (千円)	内訳
小児救急医療対策	(1)	3次小児救急医療に対応するセンターの整備	あいち小児センター	4,035,000	1,925,000	
	(2)	小児集中治療学春附講座設置	名古屋大学	72,500	72,500	30,000千円/年×2年×5月
	(3)	休日急病診療所施設整備事業(小児1次対応)	県内休日診療所(名古屋(2か所)/春日井市)	-	120,000	40,000千円×3か所
	(4)	休日急病診療所運営費(小児1次対応)	県内休日診療所	59,000	59,000	5,900千円×2年×5施設
	(5)	適正受診普及啓発事業	県	10,000	10,000	5,000千円×2年
小計				2,186,500		
周産期医療対策	(6)	MFCU整備事業	藤田保健衛生大学病院	240,000	80,749	
	(7)	NICU・GCU整備事業	名古屋第二赤十字病院 厚生連江南厚生病院	480,000 70,000	97,839 26,654	
	(8)	周産期医療学春附講座設置	藤田保健衛生大学	72,500	72,500	30,000千円/年×2年×5月
	(9)	再三河分城施設運営費助成事業	新城市助産所	15,000	15,000	5,000千円×3年
	(10)	発達障害医療等の拠点施設整備	心身障害者コロニー	8,000,000	3,675,000	
小計	(11)	障害児(者)医療に係る研修事業	心身障害者コロニー	8,824	8,824	
	(12)	障害児(者)医療学春附講座設置	名古屋大学	72,500	72,500	30,000千円/年×2年×5月
					3,756,324	
女性医師・看護職員確保対策	(13)	院内保育所整備事業	県内病院(第一日赤/成田記念/刈谷豊田)	1,621,000(3施設)	42,483	
	(14)	随時実習指導者講習会事業	名古屋市	4,986	4,986	2,493千円×2年
	(15)	看護職員就職フェア事業	県	5,000	5,000	2,500千円×2年
小計				52,469		
合計					6,288,035	

【Ⅱ 救急医療体制の構築】

項目	番号	事業内容	実施主体	総事業費 (千円)	基金額 (千円)	内訳
救急医療対策	(1)	急性期対応医療機関整備事業(東海&知多市民病院統合)	西知多医療厚生組合	11,734,000	585,000	
	(2)	連携支援病床整備事業	常滑市民病院	5,500,000	368,000	
	(3)	ドクターカー整備事業	半田市立半田病院	33,687	15,000	
	(4)	在宅支援病床整備事業	県内医療機関(3)	-	72,000	24,000千円×3か所
	(5)	圏域を越えた医療連携のモデル構築事業(尾張西部&海部)	圏域内医療機関(稲沢市民・あま市民・津島市民・尾西)	-	61,000	会議費 1,000千円 モデル病床 30,000千円×2
	(6)	災害拠点病院自家発電施設整備事業	災害拠点病院(4)	-	193,840	48,460千円×4か所
合計				1,294,840		

【Ⅲ 精神救急医療体制の構築】

項目	番号	事業内容	実施主体	総事業費 (千円)	基金額 (千円)	内訳
精神医療対策	(1)	精神科医療学春附講座設置	名古屋大学	72,500	72,500	30,000千円/年×2年×5月
	(2)	精神・身体合併症対応病床整備事業	藤田保健衛生大学病院	440,000	117,400	
	(3)	精神・身体合併症対応病床運営費助成事業	豊川市民病院	921,161	88,050	
	(4)	認知症疾患医療センター運営費助成事業(制度定着までの期間限定補助)	県内医療機関(8)	108,800	54,400	3,400千円×8か所×2年
	(5)	認知症の専門医療を可能とするIT技術を活用した基盤整備事業	国立長寿医療研究センター	150,000	150,000	
合計				539,574		
総計					8,122,449	

